

はこべ (繁縷)

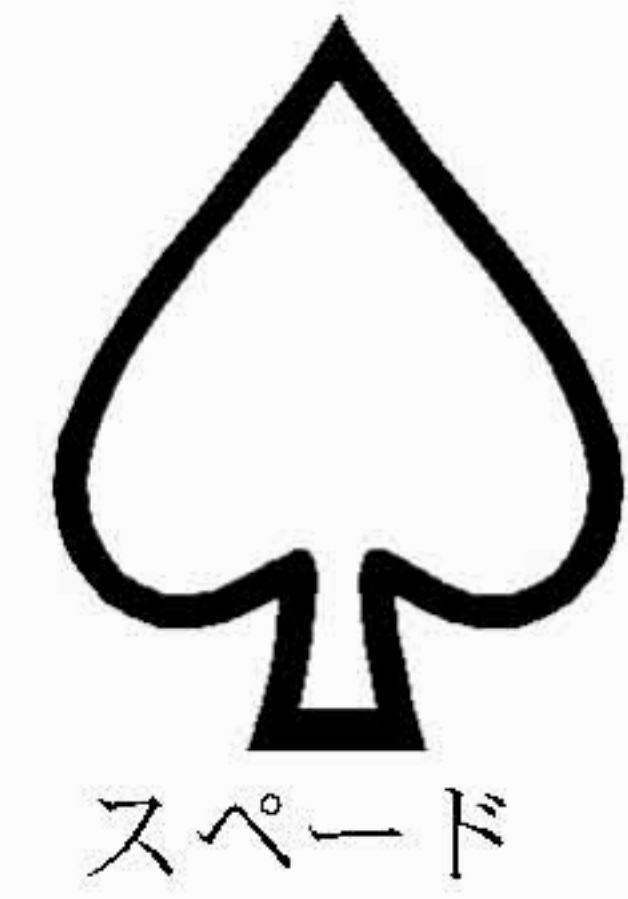
(コハコベ、ミドリハコベ)

名前の意味^{いみ}：昔のなまえは「はこべら」だが、名前の意味にはいろいろな説があり、本当のところはよくわからない。

分類：双子葉類、ナデシコ科、ハコベ属

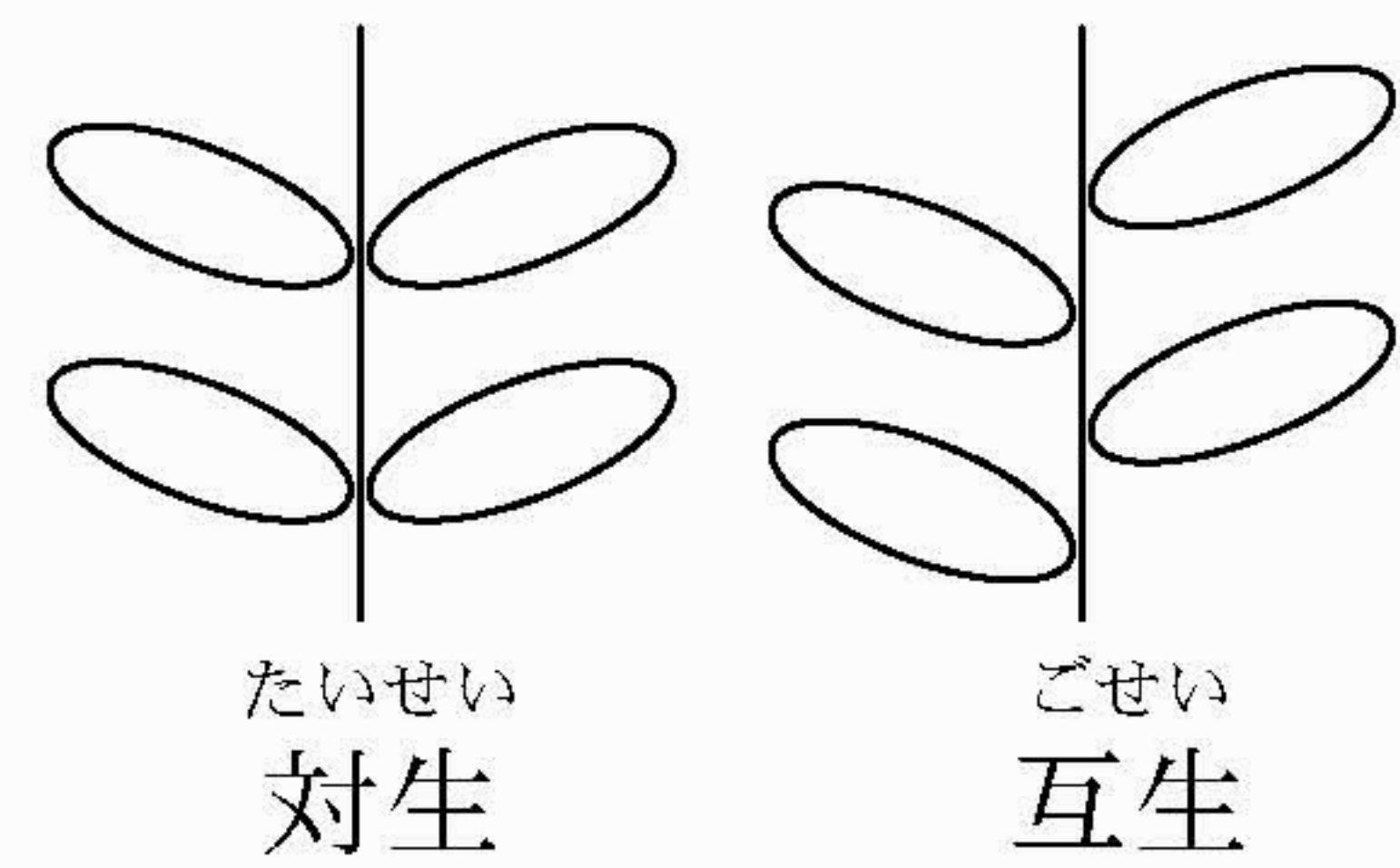
好きな場所：日当たりのよい道ばた、畑、庭

分布：北海道、本州、四国、九州



原産地：コハコベはユーラシア大陸、ミドリハコベは自生^{じせい}。

特徴^{くき}：茎は地面をはう。葉は対生^{たいせい}し、下の方の葉はスペード型。小さな白い花



種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数^{りべん}：離弁、5枚（深く切れ込んで10枚に見える）

花の時期：4—6月

食べ方：刻んでおかゆに混ぜる（春の七草^{ななくさ}の1つ）

見分け方：オランダミミナグサにくらべ、はこべの葉には毛がほとんどなく、さわるとつるつる。はこべの花は付け根の茎^{かけい}（花茎）が長い。

見つけやすさ ★
見分けやすさ ★★
総合難易度^{そうごうなんいど} ★★

(★が多いほど量が少なく、

見分けにくく、難易度が高い) ハコベ (毛がすくない)

オランダミミナグサ

